

平成 22 年度 幼保連携研修会実施要領

1. 目 的

- ・ 保育所保育指針の周知
- ・ 認定こども園として必要な機能を果たすための保育所職員等の専門性の向上

2. ね ら い

- ・ 保育や認定こども園制度の動向について理解する。
- ・ 保育所保育指針を踏まえた保育内容について理解する。
- ・ 認定こども園に対する社会的な要請や意義、役割について理解する。
- ・ 認定こども園での保育実践の具体的な技術を理解する。
- ・ 認定こども園での保育実践に関連する事項を理解する。
- ・ 保育所の実践事例などの報告により、具体的な取り組み方法を理解する。
- ・ 担当者同士の意見交換により他園の実践について理解する。

3. 主 催

社会福祉法人 日本保育協会

4. 後 援

厚生労働省

5. 対 象

保育所の所長・保育士等の保育所職員、地方自治体職員並びに幼稚園関係者等とします。

6. 人 員

都道府県・指定都市・中核市ごとに、2名程度（1施設1名）とします。

7. 定 員

200名

8. 期日及び場所

<期 日> 平成22年10月6日(水)・7日(木)・8日(金)の3日間

<会場・宿舎> 国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

電話 03-3469-2525

会場までのご案内は15. 交通案内を参考にしてください。

9. 経 費

- (1) 研修の受講料は徴収しません。ただし、参考資料その他の雑費として3,500円をお預かりします。研修初日に参考資料その他の雑費3,500円を受付で現金にてお支払いください。
- (2) 交通費は自己負担になります。

10. 締 切

各都道府県・指定都市・中核市の児童福祉（保育）主管課が指定する期日までにお申込みください。

11. 研修内容

研修科目	研修のねらい	研修内容	方法・時間	講師名
1. 認定こども園をめぐる制度の動向と展望	認定こども園をめぐる制度の動向を研修し、今後の認定こども園について展望する。	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園をめぐる制度の動向 幼保一体化と認定こども園の展望 	講義 1時間30分	厚生労働省雇用均等・児童家庭局 保育課 幼保連携室
2. 保育所保育指針と認定こども園	幼稚園教育要領・保育所保育指針を踏まえた保育実践について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育要領・保育所保育指針の目標が達成される教育及び保育 認定こども園における安全管理 	講義 1時間30分	厚生労働省雇用均等・児童家庭局 保育課 保育指導専門官 丸山 裕美子
3. 認定こども園の保育の質の向上	認定こども園で保育を実践する際の配慮事項を研修し、認定こども園の保育の質の向上への理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園の保育における配慮事項 子どもの視点に立った自己評価と外部評価 保育者の資質の向上 	講義 3時間	目白大学 教授 増田 まゆみ
4. 認定こども園における子育て支援	認定こども園において必須の機能とされている子育て支援事業について、多角的・実践的な視点から研修し、認定こども園の保育実践への理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者及び地域の子育て力を高める保育実践 保護者の生活スタイルの違いを踏まえた相互理解の促進 地域の人材や社会資源との活用と連携 	パネルディスカッション 3時間	司会 目白大学教授 増田 まゆみ パネラー 東京成徳大学 准教授 塩谷 香 社会福祉法人 東明 会理事長・認定こども園飯沼保育園 副園長 東ヶ崎 静 仁 認定こども園あかみ 幼稚園 園長 中山 昌 樹
5. 認定こども園の教育機能	認定こども園における教育及び保育内容についての配慮事項、保育実践について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの発達に即した援助 生活の連続性を踏まえた教育機能と養護機能の一体的展開 環境を通して行う教育活動の充実 	講義・討議 3時間	大妻女子大学 教授 柴崎 正 行

12. 日 程 表

日		時間		9	10	11	12	13	14	15	16	17
		30	2035	1530	20	50						
第1日	平成22年10月6日(水)		受 付					開 講 式	認定こども園を めぐる制度の動 向と展望	休 憩	保育所保育指 針と認定こども 園	
第2日	平成22年10月7日(木)		認定こども園の保育の質の向上					休 憩	認定こども園における子育て支援			
第3日	平成22年10月8日(金)		認定こども園の教育機能					閉 講 式				

13. 申込み手続

受講申込みの受付は都道府県・指定都市・中核市の児童福祉（保育）主管課になります。別紙の申込書に必要事項をご記入の上、同主管課から日本保育協会に郵送にてお申込みください。

お申込みについては、都道府県・指定都市・中核市ごとに原則2名程度ですが、これを超える場合は申込書の優先順位欄に優先順位をご記入ください。その場合は全体の受講の状況によっては受講いただけない場合もございます。その際には各主管課へ日本保育協会よりご連絡します。

なお、各主管課からの申込書の送付先は次のとおりです。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目53番1号 こどもの城13階
 社会福祉法人 日本保育協会 研修部（加藤、小檜山、今井）
 電 話 03-3486-4420（研修部直通）
 F A X 03-3486-4415
 E-mail kato@nippo.or.jp（加藤）

※個人情報の取り扱いについて

申込書に記載していただく個人情報は、研修の実施上必要なお申込み内容の確認、及び受講者となった方へ受講票を送付する際に使用します。また、日本保育協会からお申込みいただいた方や、保育所へ連絡する必要がある際に使用します。これらの目的以外には使用しません。

14. そ の 他

- (1) 研修は通修になります。宿泊は各自でご手配ください。
- (2) 受講者には、各自の勤務先宛に受講票を送付します。
- (3) お申し込み後の受講取り消しはできません。
- (4) 研修期間中の途中からの受講はできません。
- (5) 第1日目の昼食は各自ですませてからご来場ください。

15. 交通案内

○東京駅から

J R中央線 約14分 新宿駅乗り換え 小田急線各駅停車 約3分 参宮橋駅下車 徒歩約7分

○羽田空港から

東京モノレール 約23分 浜松町駅乗り換え J R山手線(外回り) 約23分 新宿駅乗り換え
小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車 徒歩約7分

○東京メトロ千代田線

代々木公園駅(C02)下車

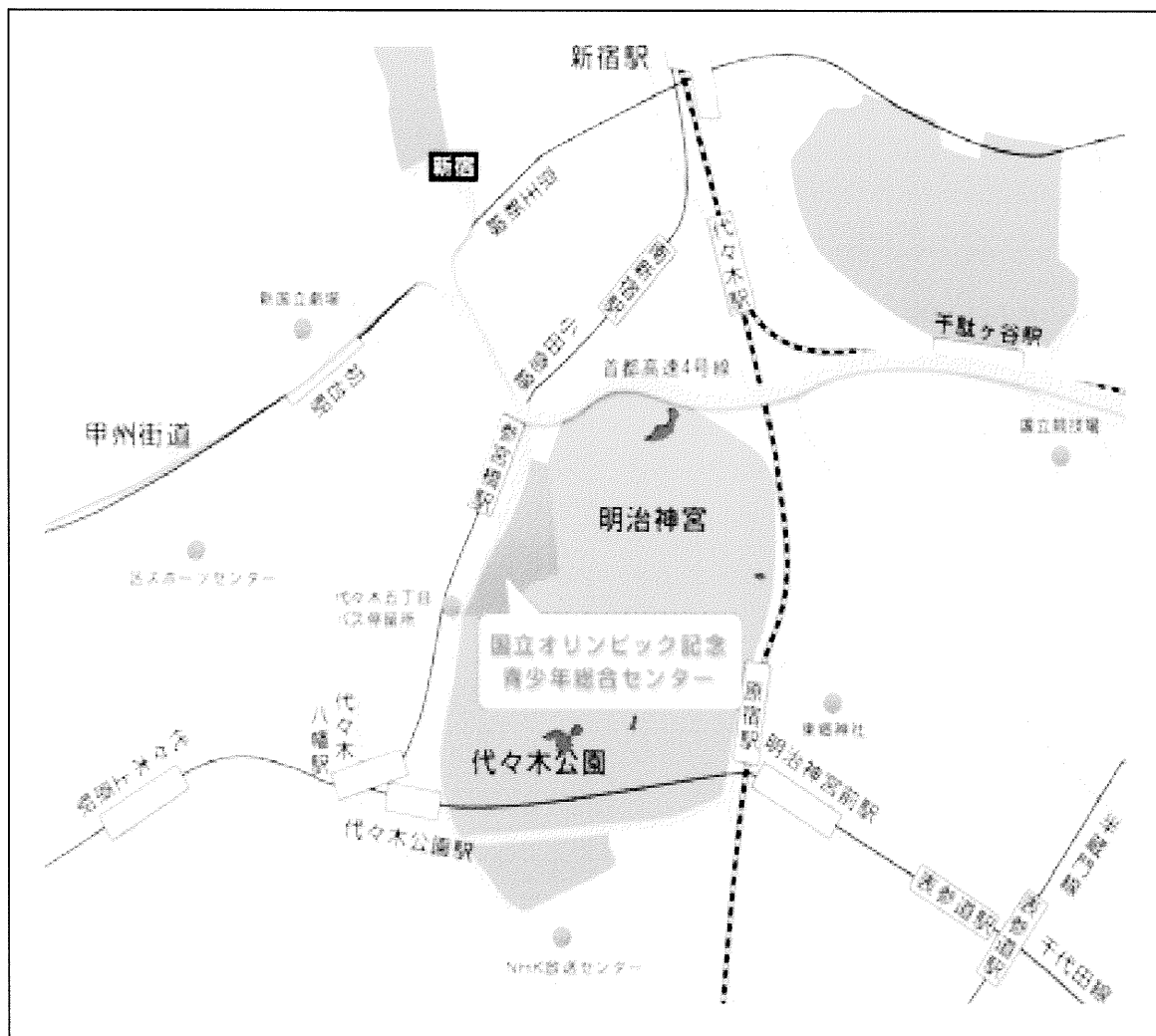
(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分

○京王バス

新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車

渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車

○会場周辺地図



平成22年度 幼保連携研修会申込書

フリガナ		年齢	性別
お名前		歳	男・女
勤務先名称			
公営・私営	1. 公営	2. 私営	
勤務先所在地	(〒 -)		
勤務先電話番号	()		
法人名 (私営のみ)			
現職名	1. 保育士 2. リーダー保育士 3. 主任保育士 4. 園長 5. 副園長 6. 看護師・保健師 7. 幼稚園教諭 8. 幼稚園園長 9. 認定こども園保育者 10. 認定こども園園長 11. 行政職員 12. その他()		
現職の 経験年数 (月数切り捨て)	年	保育者としての 経験年数 (月数切り捨て)	優先順位 (主管課記入)